

令和4年度自己評価表

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の1つであり、その教育理念は学校教育法に基づき「商業実務および教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成」を目的とした教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) こども未来学科

- ① 1年次 … 学校の基本的なルールを守る。
- ② 2年次 … 社会人としての礼儀・マナーの実践を行う。
- ③ 3年次 … 希望進路に向けた活動に意欲的に取り組むことができる。
- ④ 4年次 … 学校の模範となる学生と希望進路への就職を実現する。

(2) こども発達学科

- ① 1年次 … 学生マニュアルの記載事項を遵守し、学生としてふさわしい生活、学習習慣の基礎を培う。
- ② 2年次 … 1年次に培った基礎をもとに、実習経験を積み、より実践的な学びを深める。
- ③ 3年次 … 就職年次として、社会人としてふさわしい道義、礼節、マナーを備えた人材を目指す。学習、実習においては、自分の課題を見つめ、自らすすんで学びを深める姿勢を養う。

(3) こども学科

- ① 1年次 … 学校生活の基本的なマナーを身に付ける。(挨拶・清掃・提出物・自己管理)
- ② 2年次 … 目的意識を持った就職活動を行い、希望進路への就職を実現する。

(4) 医療事務総合学科

- ① 1年次 … (a) あいさつ・清掃・環境に対する意識向上させる。
(b) 納期を守る。
(c) 礼儀・マナーを身に付ける。
(d) 目配り・気配りを心掛ける。
- ② 2年次 … (a) あいさつ・清掃・環境に対する積極性を身に付ける。
(b) 納期厳守のための余裕を持った行動をする。
(c) 社会人としての礼儀・マナーを実践する。
(d) 目配り・気配りを心掛ける。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・ 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

学校全体の理念、学科ごとの目的や育成人材像については、教職員が熟知しホームルーム等で学生に周知している。対外的にはホームページや学校案内等で周知している。新型コロナウイルスの影響で、保護者との直接的な対話ができる機会が設定しづらく、学校の方針や学生の様子を具体的な資料を提示し、伝えることができない現状がある。

② 今後の改善方策

学生の教育に関して保護者の理解、連携を深めるためにも説明会や懇談会の取り組みが必要である。入学生の学力や意欲、業界のニーズ等を常に情報収集、分析し時代が求める人材の育成を考えながらカリキュラム編成を構築していく。目まぐるしく変化する教育界の最新情報をいち早くキャッチし、教育に取り入れられる柔軟な体制強化が必要である。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

学校全体の運営方針は年度当初の全体会で周知し、朝礼や会議等で教職員に徹底されている。学校全体また各学科、教科の目的や目標の達成に向け各行事の委員や、各教科の研修会を開催、実施し学校運営を行っているが、退学者の減少に繋がっていない。また、定員充足率を高めるための具体的な施策を構築する必要性が求められる。業務の効率化を図るための情報システムはかなり良くなったが更なる改善の見直しが必要である。

② 今後の改善方策

中期的、長期的にみると学生数の減少や人材像の変化等、外部環境の変化に対応できる体制を構築することが必要である。そのため、教育課程編成委員会での各企業との連携を通じて、最近の動向等を確認、分析しながら、カリキュラム作成や人材育成に反映できるよう体制を整えていく。また、当校の運営に適した情報システムの効率的な活用を目指す。

③ 特記事項

特になし

(3-1) . 教育活動 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- (a) 1年生のこどもっと実習では、新型コロナの感染や濃厚接触、園で感染者が出たことによる対応等で実習時間の確保が難しくなり、思ったような経験ができなかった。園での実習が難しい場合の学内での学びの確保が課題となる。
- (b) 2年生以上の外部実習は実施することができ、現場での学びの機会を確保することができた。
- (c) 1・2年生は新潟市ふれあいスクールへのボランティア活動に参加することで、学童と関わる機会を得ることができた。
- (d) 小学校の実習ではパワーポイントを使用する機会があるが、現時点でのカリキュラムでは4年生の実習後の履修となっているため、パワーポイントを活用できない学生が多くいる。

② 今後の改善方策

教育実習に向けて、ICT化についての理解を深め、実際に使用できるような実践的な授業と教育を行っていく。

③ 特記事項

特になし

(3-2) . 教育活動 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- (a) グループ園や協力園からの協力を得て、ある程度の実習機会を確保できたが、コロナ禍により以前のような実習回数までは確保できなかった。コミュニケーションの取り方、礼儀作法を身につける機会がないまま進学してきている学生もいる中で、実習は社会人としての礼儀やマナーを身につける有意義な機会である。
- (b) 教員が実習先の職員と連携を密に取ることで学生に対して有効な指導を行いたい。また、教員研修においては、研修会等に加え、園や企業から話を聞く場を複数回設け、社会のニーズ、保育現場や子育て支援の現状について更に知見を広げなければならない。
- (c) 発達学科の特色である、1～3年生の縦割り交流会を複数回にわたり実施した。学生同士が活発に意見を交換し合い、学びを共有し、高め合う姿が見られた。また、それぞれの活動後に実施したアンケート調査からは、これまで学習したことをアウトプットすることを通して学びをより深く定着させている様子が伺えたため、これらの活動を今後も充実させていきたい。更に今年度からの新たな試みとして日本赤十字社幼児安全法講習、幼児体育指導者検定を実施した。乳幼児の安全管理や運動遊びにおいて、より専門的な学びを得る機会となった。このような学科の特長を更に伸ばしていきたい。

② 今後の改善方策

- (a) 実習でしか学ぶことができない実践的な学びを大切に、実習機会の確保、事前指導の徹底に努める。また、実習以外の各種ボランティアの機会についてもより一層の充実を図り、学生に様々な社会経験の場を提供することによって、社会との繋がりを通じて広く物事を考える力、社会人としてのコミュニケーション力、学びをアウトプットする力の向上を目指す。
- (b) 教員が積極的に外部機関と繋がり、社会のニーズを知ることで、産学連携によるインターンシップの体系を確立させ、授業内容や指導方法に活かす。
- (c) 発達学科の特色である1～3学年での縦割り交流を継続し、学年の垣根を越えた学生同士の学び合いを大切にしていく。

③ 特記事項

特になし

(3-3) . 教育活動 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- (a) 昨年は、学科のカリキュラムの見直しが行われておらず、取得しなければいけない単位数が多く発生し、学生への負担が大きくなってしまった。
- (b) 研修等の参加は、教員の意思に任されており、教員間に差が発生している。知識・技術の向上の取り組みの差を埋めるための対応策が必要である。
- (c) 授業アンケートを改善し、内容やとり方の見直しが行われた。授業数が多いため、前半はしっかりと回答してもらえたが、後半に回答した教科の内容は惰性になったと見受けられる学生もおり、実施方法などについて再度検討の必要性がある。

② 今後の改善方策

- (a) 近年の学生の性質・学力・意欲も考慮し、さまざまな知識・技術を習得するだけでなく、学修の定着を図るべき、体系的なカリキュラムの編成を学科で協議する。
- (b) 授業アンケートの方法を改善したことで、前年度より詳しく学生のニーズを把握することができた。しかし、まだ実施方法や時期、内容についても検討の余地がある。

③ 特記事項

授業アンケートを改善し教育活動の充実を図った。さらに、学生の満足度を上げることにより学習意欲を高められるよう、授業のみならず学生生活への満足度アンケートを実施する等の取り組みが必要である。

(3 - 4) . 教育活動 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 ② 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 ② 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

新型コロナウイルスの影響で医療機関の見学、実習が難しい状況が続いている。

② 今後の改善方策

過去の学生の実習報告を用い、医療機関の規模や特徴を学ぶとともに、過去の学生と在学中の学生との比較から不足知識を洗い出し、学生の今後の強化課題を見出していく。

③ 特記事項

特になし

(4-1) . 学修成果 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 課題

今年度教員採用試験の一次通過者は1名のみだったため、教員希望者に対する一次試験の対策に力を入れる必要がある。また、一次通過後に二次試験の対策を始めるでは遅いことがよくわかったため、一次通過を見越した早めの対策が必要となる。

3年次から始めるコース別授業での様子を見ると、動機付けの低さからか、学修に対する意欲が低い学生が見受けられる。2年次にコース選択のための説明は行っているが、卒業生や4年生などから実体験や体験談を聞く機会を設け、明確なビジョンをもったコース選択をさせることが必要である。

② 今後の改善方策

卒業生に来校してもらい、直接話を聞く機会を設けることができたが、公務員として働いている卒業生に偏ってしまったため、今後は私立園・施設に就職した卒業生からも来校してもらい、さまざまな進路の中から選択できるような機会を設けたい。

小学校でのボランティア活動について来年度も継続し、可能であれば授業見学をさせていただくことで学生自らが教職についての理解を深め、コース選択や就職に生かせるようにしたい。また他学年との交流機会も継続して行っていきたい。

③ 特記事項

特になし

(4-2) . 学修成果 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2
・ 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	④	3	2	1

① 課題

- (a) 明確な理由のないまま退学を選択する学生が数名見受けられた。次年度は、学生一人一人が社会との繋がりを感じられるような支援、周りとの深い人間関係を築いていけるような支援を意識しながら教育活動をおこない、退学者低減に努めたい。
- (b) コロナ禍での就職活動をスムーズに行う。
- (c) 当校の教育活動が卒業生のキャリア形成にどのような効果を及ぼしているのか、その実態の把握に努めた。卒業生からの話を在校生が聞く場、卒業生と在校生とが交流する場を設け、卒業生のキャリア形成・仕事で培った知識や技術を、更に教育活動に活用したい。

② 今後の改善方策

- (a) 退学を考えている学生の心の機微に気づけるよう、担任と教科担当が連携しながら学生支援し、退学者低減に努める。
- (b) 次年度も卒業生のキャリア形成の把握に努め、在校生への教育活動に活用していく。卒業生と在校生とが共に活動する内容を取り入れるなど、次年度はさらに充実した教育活動になるよう計画する。

③ 特記事項

特になし

(4-3) . 学修成果 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 ② 1

① 課題

退学者・休学者が増加した。病気治療のための休学者もいたが、精神的な病を抱えている学生も多く、専門機関への受診の必要性があっても早期の対応ができていないことがある。

② 今後の改善方策

- (a) 多様な問題を抱えた学生が年々増加しているため、学生支援室の設置や専門機関との連携を深めていく。
- (b) 卒業生の動向把握を担当や就職担当が行っているが、情報を共有できていないため、共有できるシステムを構築する。

③ 特記事項

今年度、1年次の退学・休学者が例年より多かった。30名を担当・副担当でサポートしていたが、個別対応が必要な学生が増加している。学生とガイダンスを行いたくても、学生の時間割や教員の授業や勤務体制にも余裕がなく、迅速な対応ができない場合があった。個別のニーズを把握し対応できるような体制を考えていく必要がある。

(4-4) . 学修成果 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

人数が比較的多い1年生では、一人ひとりを丁寧にフォローする時間がなかなか割けなかった。コロナの陽性者、濃厚接触者による数日間の欠席が多く、学習の足並みが揃いにくい現象も発生している。

② 今後の改善方策

職員の欠員補充を図り、学習の遅れや欠席がある学生のフォローに充てる時間を作る。
また卒業生の働きぶりを紹介することにより、医療機関ごとの特徴を学生が知るきっかけを作っていく。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- (a) こども発達学科・こども未来学科では前年以上に良好な就職内定状況である。
医療事務総合学科は前年と同じである。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、実習の遅延等が生じたことが原因で、就職活動が遅くなり就職活動に影響が及んだため、および、過密な学修カリキュラムのため、こども学科での内定率が低下した。(内定率12月末現在、2021年度=65%、2022年度=29%)
- (b) 就職年次に限らず、退学休学者が目立ち、十分な指導、支援体制となっていない現状がある。
- (c) 医療事務総合学科では、急な退職により1名欠員が生じたが、補充ができないまま運営してきた。そのため、現担当者の負荷が大きく、不測の事態への対応力に欠ける面が見受けられる。

② 今後の改善方策

- (a) 適正な学修カリキュラムを構築する。
- (b) 退学理由を分析したうえで学科及び学校全体での対応力を強化する。
- (c) 採用責任者の能動的な採用活動の促進を高める。

③ 特記事項

特になし

(6-1) . 教育環境 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- (a) 今年度もGoogle Classroomの活用により、レポート提出は問題なく実施できた。コロナ禍により公務員対策講座が対面ではなくGoogle Classroomを活用したものとなったため、公務員対策室を有効に活用できるよう検討が必要である。
- (b) 防災については非常ベルが鳴った際の教職員の動線確認を実践的に行えていない。備蓄品についての品目や量に不明な点がある。

② 今後の改善方策

来年度から姫路大のレポートは学生自身で印刷することになるため、ネットワーク環境やプリンター設定などのトラブルが発生しないよう環境整備を行う。

防災面では体制の整備を強化する。

③ 特記事項

特になし

(6-2) . 教育環境 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

グループ園、協力園から積極的に実習を受け入れていただいたことに加え、人形劇公演やボランティアの受け入れ先として多くの園、施設から協力を得ることができた。さらに、豊栄福祉交流センタークローバーからは1年生の施設見学に協力いただき、障害者施設、障害者支援について学びを深めることができた。引き続き、外部機関との繋がりを大事にしたい。

② 今後の改善方策

防災に対する体制の強化に努め、避難訓練等を通して防災に対する危機意識の向上を促す。また、避難訓練のあり方についても内容を精査し、保育現場の実情に沿った実践的な内容で実施する。

③ 特記事項

特になし

(6-3) . 教育環境 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

- (a) 提携園が増えたことにより、一つの園でコロナ感染症蔓延により実習ができなくなった場合でも、他の園で対応ができ、学びの機会の減少を最小限にとどめることができたが、提携園の地域や保育方針等に偏りがある。
- (b) ネット環境の整備により、接続しやすくなり学修もはかどるようになった。しかし、学校幹旋のパソコンのスペックが低いせいか、起動に時間がかかる、すぐに固まる、アップデートできないなどのトラブルも発生し、パソコンを使用する授業に支障きたすことがある。

② 今後の改善方策

- (a) 実習担当者だけでなく、他の教員も実習園確保の協力依頼を行い、提携実習園を確保する。
- (b) 学校幹旋のパソコン選定の際は、学生の意見を聞き取り、現状の問題を精査し、専門の教科担当も含め検討する。

③ 特記事項

今年度は防災訓練が実施できなかったが、防災意識を高めたり、防災能力の向上を図ったり、被害を最小限に留められるような体制強化が今後は必要である。

(6-4) . 教育環境 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

教室のブラインドに不備があり、遮光性、断熱性が低く夏の暑さ、冬の寒さが学生の負担になっている。また医療PC室に備え付けのパソコンに不具合が発生し、全台を使用できないことがある。

② 今後の改善方策

ブラインドの隙間を布等で覆う。医療PC室の使用は人数を抑え、不具合が発生したパソコンを使用せずとも、他のパソコンで代用できるよう席を空けておく。

③ 特記事項

特になし

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

様々な媒体を活用して随時情報発信を行っているが、入学検討者にとって学校の違いや特徴が分かりにくいように感じる。特にテキストベースで比較したとき、各校どこも同じような学校に見えてしまうので、差別化を図りにくい。

② 今後の改善方策

- (a) 各媒体の利用方法や、学生たちの声を集め活用していく方法など、試行錯誤を重ねていく。
- (b) ムービーコンテンツを充実させていく。

③ 特記事項

特になし

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

〔 在校生数の減少により収入が減少している。 〕

② 今後の改善方策

〔 学生募集の強化を行い、在校生数の増加による収入増を図る。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

〔 個人情報の取扱いに関する規程を策定しているが、実際に事故が起きた際にどのような初動をとるか細部までの検討がなされていない。 〕

② 今後の改善方策

〔 上記規程を周知し教職員の意識向上を図る。また、個人情報漏洩に係る業務過誤賠償責任保険への加入も継続する。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

① 課題

「こども祭り」では、地域の小学生や日頃お世話になっている園のこどもたちを招き、コロナ対策しながら遊びを提供することができた。こどもに喜んで欲しいという思いが学生たちから感じられ、学びと貢献が繋がり合う様子を見ることができた。R5年度はコロナの基本方針が緩む傾向にあり、学生のボランティア活動を含め、広い範囲での地域交流を目指したい。

② 今後の改善方策

ボランティアとは、社会貢献とは何か、どのようなやり方が考えられるか。まずは学ぶことで、学生が自発的に活動の場を見つけられるようにする。

③ 特記事項

特になし

(11) . 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項